Feature

公園へ出かけよう！

8月に入り、いよいよ夏本番ですね。みなさんは夏を満喫していますか？海に山に旅行と、やりたいことはたくさんありますよね。

さて今回は、フリーテンポの各編集部が、夏休みに訪れた際には是非寄っていただきたいオススメの公園を紹介します。公園といっても近所の小さな公園から大きく有名な公園までありますが、今回は知る人ぞ知る、ガイドブックには載っていない情報も集めてみました。

平岸高台公園

札幌と聞いてすぐに思い浮かぶ公園と言えば、やはり大通公園だろうか。冬はホワイトイルミネーションに雪祭り、夏はビアガーデン。地元の人や観光客で賑わう。今でも昔ながらの噴水とときびのイメージである。他にも、彫刻家イサム・ノグチで有名なモエレ沼公園や、円山動物園と北海道神宮に接する円山公園など、札幌には多くの公園がある。観光ならどれも外せない。

さて、左の写真が今回紹介する公園。見た感じは住宅街によくあるような、少し広めの普通の公園だ。実は、「水曜どうでしょう！」の前枠と後枠で撮影に使われていた平岸高台公園である。番組では手前にミスターと大泉君が立ち、斜面を背景に収録されていた。どうでしょうファンにとっては是非訪れたい公園である。場所はテレビ北海道のすぐ側。ただし閑静な住宅街にあるので、くれぐれも近所の方の迷惑にならないように！

（札幌編集部・タラ夫）

高松公園

閑静な住宅街にひっそりと存在する大きな公園。それが、岩手県盛岡市高松にある高松公園だ。

シンボルは何といってもその大きな池。その周りを囲むように緑地帯と遊歩道が整備されている。実は桜が多く植えられており、その数約800本。「日本のさくらの名所百選」にも選ばれたほどである。また、遊歩道の数箇所にベンチが置かれていて、散歩にちょっと疲れたら休憩することもできる。池の中には大きな鯉がいて、えさをあげることも可能だ。そのほか鴨の親子やアヒルも見ることができる。冬には白鳥が飛来することでも知られている。

さらにこの公園、ボートに乗ることもできる。この高松の池はボートで漕ぎ出すにはちょうど良い広さ。暑い夏には涼しげでぴったりな遊びだろう。

周囲には図書館やカフェ、釣堀もあり、公園だけではなく様々に楽しめる場所といえそうだ。岩手は盛岡までお越しの際はぜひのんびりとお立ち寄りを。

（盛岡編集部・大久保）

↓トシ猫の露店

井の頭公園

「アートマーケット」と聞いて、聞きなれない言葉に首を傾げてしまう人が多いと思います。実は私もその一人でした。

「フリーマーケット＝リサイクル品を販売。」それではアートマーケットは何を販売するのか？答えは「手作り品」です。そんな手作り品が購入できるアートマーケットが開催されている公園が、JR吉祥寺駅南口より徒歩5分の場所にある井の頭公園。アートマーケットは雨天を除く、土・日・祝の朝9時～日没頃まで開催されています。週末は路上に露店がずらりと並び、アートキャストとして登録したクリエーター達がポストカード、絵画、アクセサリー、写真などを安価で販売しています。

アートは少し敷居が高いと思っている人も、散歩がてら公園で露店を見てまわるだけでも楽しめます。アートを通じて触れ合いが楽しめるお勧めの公園です。

（東京編集部・トシ猫）

出雲大社神苑

日本屈指の縁結びの神様・大国主大神を奉る出雲大社（いづもおおやしろ）は水の都・松江市から西へ車で50分のところにある。今回紹介する出雲大社神苑は出雲大社の「松の参道」沿いにある。参道沿いは長い間水田であったが、大正12年から始まった埋立てにより、現在の神苑となった。

神苑内は古事記に因んだオブジェ（因幡の白兎像、幸魂・奇魂像など）の他、池や広場、祓社など多数の癒しスポットがある。休日は地元の家族連れに加え、観光客で賑わっている。

神苑は旧暦10月を神在月と称す出雲地方の中にあって宮司や巫女を日常的に見ることができる数少ない場所である。出雲大社は4月より断続的に、御本殿の特別参観を行っており、例年にも増して多くの観光客が訪れている。今回最後の特別参観は8月1日～9月17日。ちなみに出雲大社は1日～17日。ちなみに出雲大社はNHK朝の連続テレビ小説「だんだん」で重要な舞台となる。

天気のいい日に出雲大社神楽殿で掲げられている「日本最大の日章旗」を眺めることも神苑での楽しみ方の一つと言える。

（鳥取編集部・安部）

Column

Snowy

Snowy
現役女子大生（札幌）
ボランティア活動家
様々な社会問題に取り組む

幸せは雪のように温かい

＜君の夢まで＞
全ての講義が終わり、もう少しだけ大学に残ろうかと考えていたとき、仲の良い友達に出会い、一緒に帰ることになった。
少しだけ雨が降っているようで、いつもの他愛の無い話で揺れるバスの窓には、細い雨の足跡が、駆け抜けている。

「なりたいものが沢山ある」と、戸惑いながら笑う、君の夢を初めて聞いたとき、その横顔を包むように空が七色を描き始めた。
灰色の空に架かる橋と、ちっぽけな二人を太陽が照らしていく。

良かったこと！

気を利かせたように、バスは虹に向けて道を曲がった。
「私たち、虹をくぐろうとしているんだね」そう言って笑いあいながら、空を見上げる君に、心の中で「きっと叶うよ」と囁く。

いくら強い雨が降り注いでも、太陽が君を照らしているから。
君の傍で、私たちが傘になるから。君の夢を、見つめていて。

家に着くころには、虹は渡れないほど、短くなってしまっていた。
その橋を笑顔が照らすまで、夢を追いかけながら、向こう岸まで描いていく。
振り返ればいつも、あの日の虹と、二人がいる。今日もバスは、揺れている。

橋の始まりに、大好きな雪の色を描いて、私も虹のかけらを探していきたい。

Ichiro Machino

町野一郎
駿台予備校講師（札幌）
翻訳士、ラジオ英語放送DJ
欧州各地で通訳経験を持つ

Falling in love（邦題「恋に落ちて」）

誰でも公共交通機関で通勤、通学の途中で気になる相手がいる（あるいはいた）ことは多いのではないだろうか。で、意外と話しかけるのが難しい。多少の偶然も必要で、何時間もかけて"偶然する"という苦労も必要かもしれない。何時間もかけて"偶然"再会し、昇降口のそばに立っている相手に"There are some seats in the back"「後ろのほうに席がありますよ」と話しかけ"I saw you"「見かけたもので」"We are neighbors. (I'm) Frank Raftis"と一挙に自己紹介まで持ち込んだ。相手も"Margaret Gilmore. Well Molly"と応じた時点で、好感を持っていることが分かる。

なんてシンプルな英語なんだろう。でも、恋愛の極意はそんなものかも知れません。初めて昼食を共にしている時の会話でも「今度は君が話す番だ」と言うのに、Mollyが「何が知りたいの？"What do you want to know?"と真面目に聞くとFrankは"How much do you weigh?"などと子供だましなジョークを言う始末。適当な間があると面白く聞こえるんです。恋愛はやはりfeelingなんだなと、つくずく思わせられるのがこの映画です。いつのまにか相手無しではいられなくなる。言ってみれば不倫ブームの火付けみたいな映画だったかな。ロバート・デニーロとメリル・ストリープが若い！メリル・ストリープは本当に綺麗。「プラダを着た悪魔」を見たあなたには信じられないかも知れませんが。本当にすごい女優さんです。それぞれの年齢でいつでも最高の演技が出来るというのはあまりないかも知れない。では練習です。「見かけたもので。僕らご近所同士ですね。僕、鈴木です」"I saw you. We are neighbors. I'm Suzuki."

～映画から盗む～ 恋愛英会話

Maki maki

まきまき
ロサンゼルス
5月からLAに家族で滞在。
初の海外生活満喫中！

【フローズンヨーグルト】

今回初めてお届けする「ちょこっと日記」。初回は私の大好きな「食べ物」、特に「スウィーツ」についてのレポート。紹介するのは“pinkberry”というお店のフローズンヨーグルト。一見、普通のソフトクリームに見えるが、これがまた濃厚でヨーグルトとは思えない味。食べ終えた後で口に残る感じはなく、「お水が欲しい！」ということもない。不思議なアイスクリーム、いやいやフローズンヨーグルトなのだ。同業者から「その美味しさはヨーグルトだけではないはずだ！」と訴えられたこともあるそうだ。さすが訴訟社会のアメリカらしい話である。

それはさておき、注文する際はフローズンヨーグルトのテイストをプレーン、コーヒー、抹茶の中から選び、お好みでフルーツやチョコレートなどをトッピングして食べる。最近よく、冷やしたまな板の上でアイスとトッピングを混ぜて食べさせてくれるお店を見かける。食べる時にアイスと自分で選んだトッピングを一緒に口へ運び、両方が合わさる瞬間の美味しさもいいなあ、とあらためて思わされた。これだけ美味しくてもローカロリー。世の女性たち、いや私にとっては魅力的である。ロサンゼルスの夏はとにかく暑い。特に北海道で生まれ育った私にとっては厳しい。そんなとき、さらりと軽くヘルシー、でもしっかりとしたpinkberryのフローズンヨーグルトは、厳しい夏を乗り越えるための、私のマストスウィーツになりそうな気配である。

～ロサンゼルス～ ちょこっと日記